

質 問 ・ 意 見	回 答
◇ 職員給与等	
・職員給与の大幅な削減とあるが、何%の削減を考えているのか。	・職員の給与削減は平成12年から取り組んできた。7年間で19億円の削減なので、20%削減を目安にしていかなないと達成できない。
・サービス削減はある程度やむを得ない。もう一方の柱である職員給与の削減は年収なのか、本俸だけなのか。	・ボーナスなども含んでいるので年収ベースである。
・削減したところから更に削減だと思っていて、大変だと思っていたが、元に戻ったところから20%であれば、もっと削減をした方がいい。	・職員の給与削減は、職員の生活を守ること考え、市民の皆さんにも理解してもらいたい。
・夕張、赤平は30%削減となっている。万が一、数年後再生団体に落ちたとき、20%カットで落ちたとなった場合、笑われるのは市長、市役所、市民である。20%で十分と考えているのか。一般市民から見て理解してもらえるのか。	・今までも削減を実施してきている。赤平は全くやってきていなかった。30%削減も1、2年の間だけ。 ・この数字で、再生団体に落ちないように努力していきたい。理解していただきたいと思っている。
・長野県大滝村では、一般職員の給与は25%削減、全国一低い給与である。市なので、我慢してもっと削減をしてもいいのではないのか。	・留萌もラスパイレスでは道内でも下位で、夕張、赤平、留萌の順になる。病院が収支均衡になる、ここ7年間、市民の皆さんに我慢してもらいながら進める数字として、理解していただける数字と思っている。
・市の職員の給与を留萌の一般サラリーマンの水準まで落とすと、年間8億円×7年間。そこまでは言わないが20%を拡大するつもりはないのか。	・民間給与については企業に利益が出たときにはある程度利益配分し、それぞれ会社の規模に応じて資産を形成したり、それに比べて子ども達の教育を行ったりしている。 ・公務員給与については法に基づき人事院勧告等も受けながら決められている。国も出来るだけ民間給与との差について考慮するように話が出てきており、また、これまでも職員に給与削減の協力をしてもらっているため、今後は19億円という金額を提示し7年間で協力いただきたいとの考えを示している。
・市の職員のために、私達が市民サービスで血を流せばいいという話か。	・そのようなことではない。民間企業が経済的に豊かな時には、留萌市内は北海道で一番パスポートを取って海外旅行へ行った件数が多かった時もあったほど経済的に豊かなこともあった。民間と公務員の差は、市民の血税を持って職をなしている以上、公務員が給与をどんどん引き上げることはできない。 ・市民に痛みだけ与えて給与削減をしないでやっているのかということでもなく、今日まで努力している。市民にも痛みを感じていただきたいながら、協力いただいて厳しさを乗り切っていかなければならない。今回は、地域医療、市民の命を守らなければならない状況でもある。理解いただきたい。
・市職員の給与削減は理解できるが、意欲がなくなる恐れがある。	・病院の問題は国の責任も大きいとはいえ、病院の赤字のために子供たちの教育に関する予算をカットするのはつらい判断。しかし、地域や市民のためには病院をどうしても守らなければならないため、職員も市民も痛みを分かち合うことを理解願いたい。
・経費削減＝人件費カットとなるが、民間は一律ではない。その人の人事考課をもって経営者は判断している。メリハリをつけた形の手法を検討すべき。そうしなければ、やる気のある職員の意欲を削ぐ危険があり、制度として定めることで活力を見せることができ、住民も理解できるのではないのか。	・職員の意欲の低下の問題は、組織として、市民サービスを提供する行政として避けなければならないことから意見としてお受けしたい。
・職員給与をかなり削減するが、看護師とか人材確保は大丈夫なのか。	・医師も足りないが看護師も足りず、今も休んでいる病床がある。単純にカットすると内部崩壊にもつながりかねない。確保策、対応策を練って、どの辺が妥当なのかかわからないが検討していきたい。
・給与削減で、医師や看護師が更に減るのではないのか。	・病院を支えている医師と看護師は、給与削減で減るようなことがあれば本末転倒な話。今いるスタッフに十分な配慮をしたい。
・20%以上にするとということは職員には大変な負担であるが、やっていかなければ財政再建はできない。危惧しているのは職員組合との交渉で、市民の負担は計画とおりになるが職員給与の削減が最終的に15%になるなどしたら話にならない。市長に計画とおり職員給与の削減をやり通す決意を聞きたい。	・今回の計画は市民にこれだけの痛みを与えるわけであり、プールも困難。子どもたちだけは守りたいという強い思いがあったが、今回は地域医療を守るためにみんなで我慢したいということであるので、職員一人ひとりが、使命感、責任をもって任務を果たしこの財政状況を乗り切っていくということを、この9月に呼びかけているので、職員にも市立病院再建のために計画実施に当たったの痛みを理解してもらいたいという強い思いである。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・責任は全てそちらで市民には関係ない。市民にお願いするなら、誰が一番最初に苦労するべきかわかるのでないか。子供のためのものを全部取り上げて、大人なら我慢できるが子どもがかわいそうだ。・職員の給料も、カットしましたので協力お願いしますというのならわかるが、これからこうしたいと言うのであれば順序が逆ではないかと思う。 <p> </p> <ul style="list-style-type: none">・市の組織について、職員に目標管理がなされていない。一人一人の1年間の目標を掲げいく必要がある。 <p> </p> <ul style="list-style-type: none">・定年までもてばよいなどと言っている職員がいて、意識改革が必要。 <p> </p> <ul style="list-style-type: none">・部・課となっているが、忙しい係(窓口)があっても手伝うことがない。そういう職員に任せて大丈夫か、信頼ができない。職員にはモラルを大事にしてほしい。 <p> </p> <ul style="list-style-type: none">・外部に委託についても、直営だと効率が悪い、労働生産性が悪いからといっていいようなものだ。恥ずかしくないのか。 | <ul style="list-style-type: none">・ご指摘のとおり、市民の財政を預かっていてこのような状況にしてしまった。職員の給与についてもこの計画の通り進めていくので、ご理解いただきたい。 <p> </p> <ul style="list-style-type: none">・市民との信頼関係を何よりも大切と考えている。職員一人一人が市民サービスの向上に向けて、行政マンとして努力しなければならない。 <p> </p> <ul style="list-style-type: none">・政策立案能力を高めるべく自らの仕事に誇りを持って市民のために働いているのだという思いを持つ。仕事に意欲を持っていないとすれば、私に指導力がないことになる、お詫びする。 <p> </p> <ul style="list-style-type: none">・職員とコミュニケーションを図りながら、職場の中で部課長とのコミュニケーションを図りながら、少なくとも部の中での助け合い先頭に立って職員に伝えていく努力をする。 |
| | |